



2018年6月20日

各 位

会 社 名 **太陽ホールディングス株式会社**

代表者名 代表取締役社長 佐藤 英 志
(コード番号 4626 東証一部)

問合せ先 執行役員管理本部長 尾身 修 一
(TEL 03-5953-5200 (代表))

(訂正・数値データ訂正)

「2018年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2018年5月2日に公表しました「2018年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載に一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおり訂正いたします。

また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

なお、訂正箇所は下線を付して表示しています。

記

【訂正箇所】

1. 経営成績等の概況

<訂正前>

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における米国経済は、雇用関係や企業業績の改善を背景に緩やかな景気の回復が続き、欧州経済においても輸出、設備投資の増加を背景にした景気の回復が続いています。中国経済は、外需増加による景気持ち直しの動きが見られ、日本経済においては、堅調な雇用・所得を背景に、緩やかな回復基調が続いています。

当社グループの関連市場である電子部品業界については、スマートフォン、仮想通貨用のサーバー、車載の各関連部材の需要が堅調に推移しました。

こうした中、当社グループは、主力製品であるソルダーレジストに大きく依存する事業構造からの脱却を図り、当社グループが持つ「化学」というキーワードを軸に、総合化学企業へと飛躍すべく、3ヶ年の中期経営計画「NEXT STAGE 2020」を策定しました。

中期経営計画の1年目である当連結会計年度は、医療・医薬品事業を展開する子会社として太陽ファルマ株式会社を設立するとともに、長期収載品13製品の製造販売承認及び製造販売権等の資産を譲り受けました。

このような状況の下、為替が円安に推移した影響もあり、当連結会計年度の売上高は52,241百万円(前年同期比9.1%増)となりました。医療・医薬品事業が売上高の増加に寄与するのは、翌連結会計年度を想定しています。

リジッド基板用部材については、為替が円安に推移した影響もあり、販売実績は34,342百万円(前年同期比3.4%増)となりました。

PKG基板用部材及びフレキシブル基板用部材については、販売数量は前年を上回り、為替が円安に推移した影響もあり、売上高は12,197百万円(前年同期比17.9%増)となりました。

以上の結果、営業利益は11,337百万円(前年同期比22.9%増)、経常利益は11,199百万円(前年同期比

21.7%増)となりましたが、永勝泰科技股份有限公司に係るのれんの一時償却を行った結果、親会社株主に帰属する当期純利益は4,856百万円(前年同期比24.1%減)となりました。

(製商品品目区分による販売実績)

当期における製商品品目別の販売実績は次のとおりです。

製商品品目の名称		前期実績 (百万円)	当期実績 (百万円)	前期比	
				増減額 (百万円)	増減率 (%)
PWB用部材	リジッド基板用部材	33,216	34,342	1,126	3.4
	PKG基板用及び フレキシブル基板用部材	10,348	12,197	1,848	17.9
	ビルドアップ基板用部材	1,136	1,502	366	32.2
その他関連商材		3,165	4,199	1,033	32.7
合 計		47,866	52,241	4,375	9.1

セグメントの業績は次のとおりです(売上高にはセグメント間の内部取引が含まれています)。

① 日本

リジッド基板用部材は、車載関連部材を中心に堅調に推移し、PKG基板用部材は、高機能なスマートフォン関連部材、仮想通貨用のサーバー関連部材を中心に好調に推移しました。

この結果、売上高は19,807百万円(前年同期比10.6%増)、セグメント利益は3,408百万円(前年同期比68.2%増)となりました。

② 中国

リジッド基板用部材は、車載関連部材を中心に堅調に推移し、PKG基板用部材は、高機能なスマートフォン関連部材を中心に好調に推移しました。

この結果、売上高は21,539百万円(前年同期比4.5%増)、セグメント利益は4,602百万円(前年同期比0.4%増)となりました。

③ 台湾

リジッド基板用部材は、堅調に推移しましたが、低価格品の需要が低調に推移しました。

この結果、売上高は9,116百万円(前年同期比9.2%減)、セグメント利益は1,847百万円(前年同期比23.8%増)となりました。

④ 韓国

PKG基板用部材は、高機能なスマートフォン関連部材や仮想通貨用のサーバー関連部材を中心に好調に推移しました。

この結果、売上高は10,271百万円(前年同期比16.4%増)、セグメント利益は1,663百万円(前年同期比30.4%増)となりました。

⑤ その他

リジッド基板用部材は、前年並みに推移しました。医療・医薬品事業は、当連結会計年度において金額的重要性が乏しいためその他のセグメントに含めています。

この結果、売上高は4,979百万円（前年同期比22.2%増）、セグメント利益は514百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

（後略）

<訂正後>

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における米国経済は、雇用関係や企業業績の改善を背景に緩やかな景気の回復が続き、欧州経済においても輸出、設備投資の増加を背景にした景気の回復が続いています。中国経済は、外需増加による景気持ち直しの動きが見られ、日本経済においては、堅調な雇用・所得を背景に、緩やかな回復基調が続いています。

こうした中、当社グループは、主力製品であるソルダーレジストに大きく依存する事業構造からの脱却を図り、当社グループが持つ「化学」というキーワードを軸に、総合化学企業へと飛躍すべく、3ヶ年の中期経営計画「NEXT STAGE 2020」を策定しました。

中期経営計画の1年目である当連結会計年度は、医療・医薬品事業を展開する子会社として太陽ファルマ株式会社を設立するとともに、長期収載品13製品の製造販売承認及び製造販売権等の資産を譲り受けました。

このような状況の下、当連結会計年度の売上高は52,241百万円（前年同期比9.1%増）、営業利益は11,337百万円（前年同期比22.9%増）、経常利益は11,199百万円（前年同期比21.7%増）となりましたが、永勝泰科技股份有限公司に係るのれんの一時償却を行った結果、親会社株主に帰属する当期純利益は4,856百万円（前年同期比24.1%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

当社グループは、事業子会社を基礎としたセグメントから構成されており、「電子機器用部材事業」「医療・医薬品事業」の2区分を報告セグメントとしています。なお、当連結会計年度より報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。

電子機器用部材事業

電子機器用部材事業は、スマートフォン、仮想通貨用のサーバー、車載の各関連部材の需要が堅調に推移したことに加え、為替が円安に推移した影響も受けました。この結果、売上高は49,854百万円（前年同期比7.3%増）、セグメント利益は12,114百万円（前年同期比23.6%増）となりました。

医療・医薬品事業

医療・医薬品事業は、長期収載品13製品の製造販売承認及び製造販売権等の資産を譲り受け、2018年1月から本格的に事業を開始しました。この結果、売上高は819百万円、セグメント利益は8百万円となりました。なお、医療・医薬品事業は、当連結会計年度から事業を開始したため、前年同期との比較分析は行っていません。

（後略）

(セグメント情報)

<訂正前>

I 前連結会計年度(自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループの事業は、主としてPWB用ソルダーレジスト等の製造・販売の単一事業であり、持株会社である当社の下、各グループ会社において包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しています。したがって、当社は、製造・販売体制を基礎とした所在地別のセグメントから構成されており、「日本」、「中国」、「台湾」、「韓国」の4つを報告セグメントとしています。

2. 報告セグメントの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいています。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)2	合計
	日本	中国 (注)1	台湾 (注)1	韓国	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,446	19,923	6,062	8,459	43,891	3,974	47,866
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,471	694	3,979	366	13,512	101	13,614
計	17,917	20,618	10,042	8,825	57,403	4,076	61,480
セグメント利益	2,026	4,582	1,492	1,275	9,376	534	9,911
セグメント資産	17,976	14,972	14,868	6,711	54,528	2,988	57,517
その他の項目							
減価償却費(注)3	1,068	252	474	118	1,912	93	2,006
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	526	272	48	98	946	20	966

(注)1. 「中国」及び「台湾」セグメントには、永勝泰科技股份有限公司(その他子会社3社)の売上高及び営業利益を含んでいます。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主として米国及びその他アジアの現地法人です。

3. 減価償却費には、のれんの償却額を含んでいません。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

売 上	前連結会計年度
報告セグメント計	57,403
「その他」の区分の売上	4,076
セグメント間取引消去	△13,614
連結損益計算書の売上高	47,866

（単位：百万円）

利 益	前連結会計年度
報告セグメント計	9,376
「その他」の区分の利益	534
セグメント間取引消去	△103
のれんの償却額	△241
事業セグメントに配分していない損益（注）	△348
その他の調整額	3
連結損益計算書の営業利益	9,221

（注）主として持株会社（連結財務諸表提出会社）に係る損益です。

（単位：百万円）

資 産	前連結会計年度
報告セグメント計	54,528
「その他」の区分の資産	2,988
セグメント間取引消去	△9,983
事業セグメントに配分していない資産（注）	44,870
税効果組替	△17
連結貸借対照表の資産合計	92,386

（注）主として持株会社（連結財務諸表提出会社）に係る資産です。

（単位：百万円）

その他の項目	報告セグメント計	その他	調整額（注）	連結財務諸表計上額
	前連結会計年度	前連結会計年度	前連結会計年度	前連結会計年度
減価償却費	1,912	93	479	2,485
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	946	20	756	1,722

（注）主として持株会社（連結財務諸表提出会社）に係るものです。

II 当連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループの事業は、主としてPWB用ソルダーレジスト等の製造・販売の事業であり、持株会社である当社の下、各グループ会社において包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しています。したがって、当社は、製造・販売体制を基礎とした所在地別のセグメントから構成されており、「日本」、「中国」、「台湾」、「韓国」の4つを報告セグメントとしています。

なお、2018年1月5日に子会社である太陽ファルマ株式会社が中外製薬株式会社及びF. Hoffmann-La Roche Ltd より製造販売承認及び製造販売権等の資産を譲り受けましたが、当連結会計年度においては重要性は乏しいため、「その他」の区分としています。

2. 報告セグメントの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいています。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計
	日本	中国	台湾	韓国	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,171	21,063	6,410	9,771	47,416	4,824	52,241
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,636	475	2,706	500	13,318	154	13,472
計	19,807	21,539	9,116	10,271	60,735	4,979	65,714
セグメント利益	3,408	4,602	1,847	1,663	11,521	514	12,036
セグメント資産	21,956	15,085	12,548	7,021	56,611	29,568	86,180
その他の項目							
減価償却費 (注) 2	914	253	125	142	1,436	393	1,830
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	542	250	110	123	1,027	21,109	22,137

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国及びその他アジアの現地法人です。

2. 減価償却費には、のれんの償却額を含んでいません。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

売 上	当連結会計年度
報告セグメント計	60,735
「その他」の区分の売上	4,979
セグメント間取引消去	△13,472
連結損益計算書の売上高	52,241

（単位：百万円）

利 益	当連結会計年度
報告セグメント計	11,521
「その他」の区分の利益	514
セグメント間取引消去	184
のれんの償却額	△257
事業セグメントに配分していない損益（注）	△629
その他の調整額	3
連結損益計算書の営業利益	11,337

（注）主として持株会社（連結財務諸表提出会社）に係る損益です。

（単位：百万円）

資 産	当連結会計年度
報告セグメント計	56,611
「その他」の区分の資産	29,568
セグメント間取引消去	△4,265
事業セグメントに配分していない資産（注）	29,628
税効果組替	△52
連結貸借対照表の資産合計	111,490

（注）主として持株会社（連結財務諸表提出会社）に係る資産です。

（単位：百万円）

その他の項目	報告セグメント計	その他	調整額（注）	連結財務諸表計上額
	当連結会計年度	当連結会計年度	当連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	1,436	393	454	2,284
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,027	21,109	375	22,513

（注）主として持株会社（連結財務諸表提出会社）に係るものです。

（後略）

<訂正後>

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、従来、製造・販売体制を基礎とした所在地別のセグメントとして、「日本」、「中国」、「台湾」、「韓国」の4区分を報告セグメントとしていましたが、当連結会計年度より事業別のセグメントとして「電子機器用部材事業」、「医療・医薬品事業」の2区分に変更しています。2017年8月に設立した太陽ファルマ株式会社が、2018年1月に長期収載品13製品の製造販売承認及び製造販売権等を譲り受け、医療・医薬品事業の量的重要性が増したことにより、所在地による分類よりも、事業区分による分類が適切と判断したためです。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後のセグメントの区分に基づき作成したものを開示しています。

2. 報告セグメントの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されているセグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一です。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいています。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2016年4月1日 至 2017年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合 計
	電子機器用 部材事業	医療・医薬 品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	46,450	—	46,450	1,415	47,866
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	46,450	—	46,450	1,415	47,866
セグメント利益	9,801	—	9,801	7	9,808
セグメント資産	44,829	—	44,829	2,704	47,533
その他の項目					
減価償却費 (注) 2	1,794	—	1,794	211	2,006
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	732	—	732	234	966

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、染料、顔料等の化学品の製造事業、自然エネルギーによる発電事業等です。

2. 減価償却費には、のれんの償却額を含んでいません。

当連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合 計
	電子機器用 部材事業	医療・医薬 品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	49,854	819	50,673	1,567	52,241
セグメント間の内部売上高又は振替高	二	二	二	3	3
計	49,854	819	50,673	1,570	52,244
セグメント利益	12,114	8	12,123	97	12,220
セグメント資産	52,411	26,580	78,992	2,819	81,811
その他の項目					
減価償却費 (注) 2	1,331	353	1,684	145	1,830
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	993	20,948	21,942	195	22,137

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、染料、顔料等の化学品の製造事業、自然エネルギーによる発電事業等です。

2. 減価償却費には、のれんの償却額を含んでいません。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	46,450	50,673
「その他」の区分の売上高	1,415	1,570
セグメント間取引消去	二	△3
連結損益計算書の売上高	47,866	52,241

（単位：百万円）

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	9,801	12,123
「その他」の区分の利益	7	97
セグメント間取引消去	二	二
のれんの償却額	△241	△257
事業セグメントに配分していない損益 (注)	△348	△626
その他の調整額	3	二
連結損益計算書の営業利益	9,221	11,337

(注) 主として持株会社（連結財務諸表提出会社）に係る損益です。

(単位：百万円)

資 産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	44,829	78,992
「その他」の区分の資産	2,704	2,819
セグメント間取引消去	二	△4
事業セグメントに配分していない資産（注）	44,870	29,735
税効果組替	△17	△52
連結貸借対照表の資産合計	92,386	111,490

(注) 主として持株会社（連結財務諸表提出会社）に係る資産です。

単位：百万円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額（注）		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年 度	当連結 会計年 度	前連結 会計年 度	当連結 会計年 度	前連結 会計年 度	当連結 会計年 度	前連結 会計年 度	当連結 会計年 度
減価償却費	1,794	1,684	211	145	479	454	2,485	2,284
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	732	21,942	234	195	756	375	1,722	22,513

(注) 主として持株会社（連結財務諸表提出会社）に係るものです。

(後略)

以 上